

2021年7月12日
日本化学工業株式会社

ブライト®試験室新設について

日本化学工業株式会社は、異方導電性フィルム(ACF)および異方導電性ペースト(ACP)に主に使用される金属被覆導電粒子(ブライト®)につき、福島第一工場(福島県郡山市)において中量生産設備を備えた、研究・試験目的の専用クリーンルームを新設しましたので、お知らせいたします。

◆ブライト®試験室新設の背景

ブライト®は、当社のコア技術[※]である表面改質・コーティング技術に関連して、各種粉体(樹脂・金属・セラミック等)の表面を無電解めっき技術により金属で被覆した導電材料です。当社で独自に開発したこの技術によって、粉体表面への均一析出性だけでなく、その厚みや表面形状(平滑、突起)を精密に制御することができ、導電材料として高い接続信頼性が得られます。ブライト®はその特性から様々な電子機器において、回路接続のための導電材料として広く採用されています。

デジタル化の加速に伴い、今後も電子機器ならびに導電材料の需要は確実に増えていくことが予測され、ブライト®にとっても大きな事業機会が広がっていると考えています。その一方で、電子機器の薄型化・小型化が進むにつれ要求される性能はますます高度化し、当社の更なる技術力向上と量産工程への円滑な移行が必要不可欠となってきています。

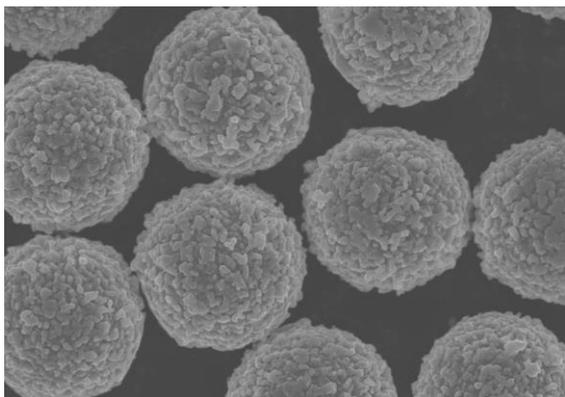
市場の高品質要求を迅速に満たすために、中量生産設備を備えたブライト®試験室の新設を決定し、2020年4月より福島第一工場にて準備を進めておりました。このたび完成し、2021年7月より稼働が開始されます。これにより大量生産時とほぼ同等の環境下で新規グレードの試作・製造および各グレードの特性改良の検討なども可能になります。また、ブライト試験室は開発から量産化まで対応できるため、さらなるブライト製品の売り上げ拡大、収益向上の一端を担うと期待しています。

当社は「人を大切に、技を大切に」の企業理念のもと、ブライト®を通じて人々の快適性の向上に貢献してまいります。

◆ブライト®試験室の概要

- (1)立地：福島県郡山市(日本化学工業株式会社 福島第一工場内)
- (2)稼働開始：2021年7月
- (3)投資額：約1億円

◆ブライト®の粒子（左：SEM写真、右：製品外観）



※コア技術：結晶性・構造制御技術や無機合成技術等を柱とする、当社固有のノウハウ・技術のこと

https://www.nippon-chem.co.jp/research_development/directivity.html

以上

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。

日本化学工業株式会社 I R 広報 TEL 03(3636)8060